

3 総合子ども学科 3年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	日本国憲法	2	
	児童文学	2	
	情報機器の操作	2	
保育士養成課程 必 修 科 目	保育相談支援		1
	保育実践演習	2	
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	地域援助論		2
	保育臨床心理学		2
	保育カウンセリング概論	1	
	視聴覚教育		2
	保育実習指導Ⅱ又はⅢ	1	
必 修 科 目	教育実習指導Ⅱ	1	
	ゼミナールⅠ	1	
	ゼミナールⅡ		1
	卒業研究		6
選 択 科 目	教育心理学		1
	児童文化	1	
	保育あそび論	1	
	おもちゃ論		1
	手話		1
	リズム・ダンスあそび		1
	保育表現技術・声楽Ⅱ	1	
	保育表現技術・ピアノⅤ	1	
	保育表現技術・ピアノⅥ		1
	保育表現技術・音楽リズム	1	
	教材造形基礎	1	
	造形演習Ⅱ		1
	語りと読み聞かせ		1
絵本創作		1	
	クラスルーム・併修学習Ⅲ a・Ⅲ b	1	1
実 習	保育実習Ⅰ-1		2
	保育実習Ⅰ-2		2
	保育実習Ⅱ又はⅢ		2
	教育実習		4
合 計 単 位 数		19	33
		52	

科 目	日本国憲法	講 師	中里 満理子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・最高法規としての憲法のなりたちを知る。 ・近代立憲主義の枠組みを理解する。 ・論理的記述力を養う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 憲法の構造 3. 立憲主義 4. 権力分立 5. 国民主権 6. 人権の種類と主体 7. 人権の限界と効力 8. 包括的基本権 9. 精神的自由 10. 経済的自由 11. 身体的自由と手続保障 12. 社会権 13. 統治機構 14. 天皇制 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……指定なし 参考書 ……『憲法』芦部信喜著、岩波書店		
評 価 の 方 法	出席、ミニテストおよび期末試験による総合評価（初回到説明）		

科 目	児童文学	講 師	宮田 航平
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の児童文学史という観点から、作品の意義を理解する。 ・教育や社会との関わりから、児童文学を立体的に捉える。 ・「子ども」に対する問題意識から、作品を批評的に読む。 ・メディアごとの表現の特性を理解する。 ・これまで学んできた読むための方法を整理し、作品を読解する力を高める。 ・口頭発表やリアクションペーパーなどを実施し、論理的に表現する力を身につける。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（授業の進め方、評価方法など） 2. 「児童文学」とは何か 3. 日本の児童文学史(1) 明治 4. 日本の児童文学史(2) 大正 5. 日本の児童文学史(3) 昭和【前期】 6. 日本の児童文学史(4) 昭和【後期】 7. 日本の児童文学史(5) 平成 8. 小説と児童文学 9. 国語教科書と児童文学 10. 絵本と児童文学 11. 映像と児童文学 12. 〈3.11〉と児童文学 13. 「読むこと」とは何か 14. レポート作成について 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし（プリント配布など） 参考書 ……『はじめて学ぶ日本児童文学史』（ミネルヴァ書房 2001年）など		
評 価 の 方 法	課題（レポートなど）、口頭発表、授業への取り組み（出席状況など）による総合評価		

科 目	情報機器の操作	講 師	酒井 澄
授業目標	<p>幼児教育者が持つべき情報の基礎知識を得る。 情報機器を使う教育の利点と問題点を知る。 基礎的な情報機器の活用法を学び考える。 教育現場でも作成可能なコンピュータによる「動くオリジナルストーリー映像」を作りこれを指導できる能力や創作力を養う。これらを、受け身ではなく自発的に協力し合いながら行う。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. ●基礎情報学① 2. ●基礎情報学② 3. *教育現場での撮影編集の方法 4. ●基礎情報学③ 5. ●基礎情報学④ 6. ●基礎情報学⑤ 7. ★試験（設題2）資料持ち込み不可。 8. ■動画制作① 9. ■動画制作②（班ごとに物語を考え発表し、一番支持を得たものの映像をパソコンを使い全員で制作する。脚本・絵コンテ・色指定・キャラクター作画・スキャン・色塗り・背景作画・キャラクターの切り抜き・アフレコ台本作り・録音・音楽効果音作り・編集 10. ■動画制作③ 11. ■動画制作④ 12. ■動画制作⑤ 13. ■動画制作⑥ 14. ■動画制作⑦ 15. ■動画制作⑧ 完成試写 <p>（上記作業を分担し、協力しあい効率よく完成させる。）</p>		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『インターネットの光と影ver6』</p> <p>参考書……特になし</p>		
評 価 の 方 法	<p>教科の理解度、受講態度を評価するが、映像制作時の協調性・積極性にも重点を置く。 欠席、遅刻も評価対象となる。</p>		

科 目	保育相談支援	講 師	平岩 由美子
授業目標	<p>子どもたちの望ましい発達のためには、保育者は「子どもたちとのかかわり」だけでなく、子どもたちが家庭生活を共にする「保護者への支援」も重要であり、その必要性が増している現状がある。本授業では、保育相談の意義と原則を学び、保護者に寄り添った支援を行うための基礎を理解すると共に、具体的事例を通して、その援助の方法を考える。また、ロールプレイを取り入れ、応答方法、相談面接の方法など理論に基づいた実際の援助方法を体験することで、更に理解を深め、技術の習得を目指す。</p>		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育相談支援とは 3. 保育の特性と保育者の専門性を活かした保護者支援 4. 子どもの成長の喜びを共有する支援 5. 保護者の養育力向上のための支援 6. 信頼関係を基本とした支援のあり方 7. 地域資源の活用と関係諸機関との連携・協力 8. 保育相談支援の方法と技術 9. 保育相談支援における留意点 10. 保育相談支援の実際～ビデオ視聴を通して支援を考える 11. 保育相談支援の事例の検討① 12. 保育相談支援の事例の検討② 13. 保育相談支援の記録と評価の方法 14. 保育相談支援の事例の検討③ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……『演習 保育相談支援』小林育子著 萌文書林</p> <p>参考書……特に指定なし 毎回プリントを配布</p>		
評 価 の 方 法	<p>試験・受講態度・レポート提出・発表・出席状況による総合評価</p>		

科 目	保育実践演習	講 師	水引 貴子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する様々な物事に目を向け、幅広い視野を持って主体的に関わる姿勢を養う。 ・興味のあるテーマについて調査、分析、考察、発表を行う。 ・他者に根拠を示し明確に考えを伝える力を身に付けると同時に、ディスカッションを通し、他者の意見を取り入れながら問題を解決していく方法を体験的に学ぶ。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション～保育実践演習の進め方～ 2. テーマの設定①～関心を明確にする～ 3. テーマの設定②～テーマを決める・関心の深め方～ 4. 研究のスタイル～調査・分析・考察の方法～ 5. 中間発表に向けての個別指導 6. 中間発表に向けてのレジュメの作成 7. 中間報告及びディスカッション① 8. 中間報告及びディスカッション② 9. 中間発表を踏まえ、発表に向けた課題の点検 10. 発表に向けての個別指導 11. レジュメ作成及び発表準備 12. 発表① 13. 発表② 14. 発表③ 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 授業中に適宜資料を配布する 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、中間発表、総合発表、ディスカッション等による総合評価		

科 目	地域援助論	講 師	久利 要子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に暮らす人々の生活に目を向ける。 ・社会福祉法に掲げられた地域福祉推進の理念について理解する。 ・地域に向けた援助実践の支えとなる諸理論について学ぶ。 ・現場の取り組みから、援助の実際について学ぶ。 ・コミュニティ・ワーカーとしての保育士の役割について考える。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 孤立化が進む社会・子どもの貧困 2. 地域福祉推進の理念～社会福祉法から～ 3. 地域における子育て支援 4. 地域福祉の担い手・推進機関とその役割 5. ソーシャル・サポート・ネットワーク 6. エコマップの活用 7. 施設の社会化とは 8. バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進 9. 地域福祉における利用者保護の取り組み 10. 福祉教育の意義と実践 11. 地域福祉計画とは 12. 現場の実践例から学ぶ① 13. 現場の実践例から学ぶ② 14. 現場の実践例から学ぶ③ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席および受講態度、レポート、試験による総合評価		

科 目	視聴覚教育	講 師	中山 佳寿子
授業目標	1. 「見る」「聞く」など子どもたちに大きな影響を与える視聴覚教育の意義とねらいを理解する。 2. 絵本などの視聴覚教材を保育に取り入れる方法を学び、子どもの五感を刺激し好奇心を引き出す活動を考案する力を養う。 3. 視聴覚教材を作成したり演じたりすることにより、保育者として必要な表現力を養う。 4. 子どもの豊かな表現を育むための、コミュニケーションの方法や技術を身に付ける。		
授 業 の 画	1. 授業のねらい及び内容 視聴覚教材とは何か 活動：「お名前レーで遊ぼう」 2. 視聴覚教材の種類 活動：「自己紹介で遊ぼう」 3. 絵本の種類 絵本の読み聞かせの工夫 活動：「ポーズで場面を表現しよう」 4. 絵本をもとにしたごっこ遊び 活動：「オリジナルの場面を想像して演じてみよう」 5. 視聴覚教育としての音楽 活動：「リズムで遊ぼう」「音の出るおもちゃを作ってみよう」 6. 絵本作り 活動：「くろまる絵本を作ってみよう」 7. 科学絵本の活用① 8. 科学絵本の活用② 9. 虫眼鏡・影絵・写真などの視聴覚教材を取り入れた活動の展開①～実践例に学ぶ～ 10. 虫眼鏡・影絵・写真などの視聴覚教材を取り入れた活動の展開②～活動を立案する～ 11. 造形活動と視聴覚教育～創作の中で生まれる好奇心（折り紙・シャボン玉を題材に）～ 12. 指導計画の作成① 13. 指導計画の作成② 14. 指導計画の発表① 15. 指導計画の発表②／まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……なし（授業時必要に応じてプリントを配布） 参考書 ……『保育所保育指針』、『幼稚園教育要領』		
評 価 の 方 法	活動・発表・ディスカッション（積極性及び内容）、ノート・レポート、出席状況による総合評価 ※14回目・15回目の「指導計画の発表」が実技試験に代わるものとなる。		

科 目	保育実習指導Ⅱ	講 師	今泉 良一
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習Ⅰを振り返り、評価・反省に基づき、課題を理解する。 ・保育実習Ⅱに向けて、目的意識、問題意識を明らかにする。 ・保育所、保育士の役割について理解し、実践する。 ・保育教材の製作、発表を通じ、指導案を立案し実践し評価を行う。 		
授 業 の 画	1. 保育実習Ⅰの振り返りと保育実習Ⅱに向けて 2. 実習日誌の分析とグループ討議 3. 個人票作成、実習課題設定 4. 部分、責任実習の実際日案作成および準備 5. 模擬保育・責任実習指導案の作成と展開、反省① 6. 模擬保育・責任実習指導案の作成と展開、反省② 7. 模擬保育・責任実習指導案の作成と展開、反省③ 8. 模擬保育・責任実習指導案の作成と展開、反省④ 9. 模擬保育・責任実習指導案の作成と展開、反省⑤ 10. 模擬保育・責任実習指導案の作成と展開、反省⑥ 11. 模擬保育・責任実習指導案の作成と展開、反省⑦ 12. 実習に伴う書類の作成、事務手続きの確認 13. 責任実習に向けての準備 14. 子どもの姿の読み取り方と日誌の記録方法 実習前後の確認 15. 試験・まとめ ※随時、漢字テスト、保育者としての常識などを問う小テストを実施する。		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド』わかば社 参考書 ……『千春と大吾の保育実習ストーリー』萌文書林（保育実習指導Ⅰaで使用したもの）		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等の総合評価		

科 目	保育実習指導Ⅲ	講 師	東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次で経験した保育所実習、施設実習の振り返りと反省をし、次回の実習に向け課題を明確にする。 ・ 保育所実習、施設実習で記録した日誌の分析と記入について再度考察し実践につなぐ。 ・ 2年次の施設実習に向け個別支援計画、指導計画の立案、保育技術、保育知識の見直し、向上に一人ひとり問題意識を持ち意欲的に学び実践につなぐ。 ・ 施設における保育者の役割、さらには保育者の専門性について課題を明確にして実習に臨む。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、授業の進め方 2. 保育所実習・施設実習の振り返り① 3. 保育所実習・施設実習の振り返り② 4. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化① 5. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化② 6. 実習日誌の分析 7. 実習日誌の書き方 8. 施設実習に向けての観察の視点を明確にする 9. 施設実習における保育者の専門性を考える 10. 個別支援計画と指導計画の作成 11. 個人票の作成① 12. 個人票の作成② 13. 実習課題の作成① 14. 実習課題の作成② 15. 実習に向けてのまとめ、直前指導 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……授業時に適宜プリントを配布 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	平常点、授業態度、提出物、実技発表などの総合評価		

科 目	教育実習指導Ⅱ	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育実習に向けての事前学習として実習課題を明確にする。 ・ 実習生としての自覚、心構えを体得する。 ・ 授業での学習成果を実践の場で活用できるような総合的な力をつける。 ・ 事後学習として実習を振り返り、自己の課題を明らかにする。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 個人表作成 2. 幼稚園教育実習の意義と目的 3. 幼稚園の生活(1) 環境に着目して 4. 幼稚園の生活(2) 子どもの活動 5. 実習課題・研究テーマの設定 6. オリエンテーションに向けて 7. 教育実習日誌の書き方演習(1) 観察記録の基本 8. 教育実習記録の書き方演習(2) 環境構成、教師のねらいと配慮の理解 9. 指導計画の立案(1) 一日の活動 10. 指導計画の立案(2) 手遊び、絵本、紙芝居を中心として 11. 指導計画の立案(3) ゲーム 12. 指導計画の立案(4) 制作 13. 実習の振り返り 14. 実習後面談 15. 実習報告会 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席（無断欠席不可）、授業態度、提出プリント、小テスト、発表等による総合評価		

科 目	ゼミナールⅠ（造形ゼミ）	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>保育造形に関する事項から必ずテーマを選び、研究・課題制作を通して学習を深める。そして各自が制作過程をファイルにまとめ提出する（必須）。 テーマは将来の現場指導に活用できることとする。 また造形分野に秀でた保育者を目指し、その造形力を向上させるよう意欲的な態度で研究する。 *制作に必要な全材料は自己負担し準備する。 また適宜、展覧会見学や動物園スケッチ等で様々な美術に触れ、訪問記録を小レポートにまとめ提出する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前提講義「造形」についての研究テーマを考察・図書館等の資料を集め十分な調べ学習を行う 2. 研究テーマ案の発表と検討・講師によるテーマのチェック（個別制作またはグループ制作） 3. 研究テーマの再案の発表と再検討・テーマ決定・計画立案 4. 制作1：各自、研究テーマについて、スケジュールに従って確実に進行。 5. 制作2：制作進行 6. 制作3：制作進行・中間チェック（個別相談） 7. 制作4：制作進行 8. 制作5：制作進行・中間発表（全体）進行状況の確認と相談・スケジュールの調整 9. 制作6：制作進行 10. 制作7：制作進行・中間チェック（個別相談） 11. 制作8：制作進行 12. 制作9：仕上げと研究発表に向けた準備。 13. 制作10：ファイルまとめ（B5かA4） 14. 制作11：研究テーマの発表。（各自） 15. まとめと総評。 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方 法	<p>総合的評価。特に授業態度を重視（毎回の授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な制作姿勢、まとめファイル、適切な片付け、出席状況）</p>		

科 目	ゼミナールⅡ（造形ゼミ）	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>ゼミナールⅠの内容を踏まえ保育造形に関するテーマを引き続き研究・課題制作を行う。そして作品を完成させ、制作過程をファイルや模造紙にまとめる。最後に展示準備を整えてチャイルド祭にて作品やまとめファイルなどを発表する（必須）。テーマは将来の現場指導に生きる内容とする。 また造形分野に秀でた保育者を目指し、その造形力を向上させるよう真摯な態度で研究する。 *制作に必要な全材料は各自で負担し準備する。展覧会見学、動物園スケッチ等で様々な美術に触れ訪問記録を小レポートにまとめ提出する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前提講義「造形」についての研究テーマを考察・十分な調べ学習を行う・ゼミⅠの制作を継続 2. 研究テーマ案の発表と検討・講師によるテーマのチェック（個別） 3. 研究テーマの再案の発表と再検討・テーマ決定。計画立案。 4. 制作1：各自、研究テーマについて・スケジュールに従って確実に進行。 5. 制作2：制作進行・中間チェック 6. チャイルド祭展示準備1：作品の仕上げ 7. チャイルド祭展示準備2：作品展示の模造紙やファイルの準備 8. チャイルド祭展示準備3：作品の完成・キャプションなどの展示準備 9. 制作3：チャイルド祭後の研究テーマの検討・制作スケジュールの立案（個別相談） 10. 制作4：制作進行 11. 制作5：卒業研究の進行状況の確認と相談・スケジュールの調整。 12. 制作6：研究制作と研究発表に向けた準備。 13. 制作7：研究作品の完成。B5かA4ファイルに各自まとめる。 14. 制作8：研究作品の発表。 15. まとめと総評。 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし</p>		
評価の 方 法	<p>総合的評価。特に授業態度を重視（毎回の授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な制作姿勢、まとめファイル、適切な片付け、出席状況）</p>		

科 目	保育あそび論	講 師	荒巻 シャケ
授業目標	目標1 保育にいかせる遊びの引き出しを増やす。 目標2 自分自身が遊びを楽しむ。 目標3 遊びを変化させたり、発展させる柔軟性を身に着ける。 目標4 お互いに学びあい、人によって遊びの視点や感じ方が違うことにも気づく。 目標5 様々な保育の考え方があることを知る。 目標6 面白い！苦手！など、遊びによって自分がどう感じるか		
授 業 の 画	1. あそび歌①（実際にあそび歌で遊びながら楽しさを体験する） 2. あそび歌②（替え歌など創作して、発表する） 3. あそび歌③（言葉遊び歌） 4. 物遊び①（バンダナ使ってゲーム遊び） 5. 物遊び②（バンダナゲーム創作発表） 6. 物遊び③（新聞紙で遊んでみよう） 7. 物語創作（カタルタを使って遊んでみよう） 8. ゲーム遊び①（世界のカードゲーム3～5歳） 9. ゲーム遊び②（世界のカードゲーム5～8歳） 10. ゲストを予定（テーマ 子どもの遊びの世界） 11. 映像で見る（子どもの心に寄り添う、りんごの木の保育） 12. 絵本・遊びとは？①（赤ちゃん絵本を探ってみよう・グループのテーマ決め） 13. 遊びとは？①（グループごとに発表準備） 14. 遊びとは？②（グループごとに発表準備） 15. まとめ（遊びとは？のグループ発表をする）		
教科書 及び 参考書	教科書……指定なし 参考書……授業ごとに紹介します		
評 価 の 方 法	受講態度・出席・レポート・実演での総合評価		

科 目	おもちゃ論	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	身近な保育教材を使って手作りおもちゃを数多く制作する。そして作り方及び使用の仕方を各自がまとめ、レポートに記述する。そして実際に遊び、その活用法を身につける。さらに実践する際の指導方法を考える。 またおもちゃが子どもに与える成長や発達の特徴を学ぶ。前半は実際に様々なおもちゃに触れながら学ぶ。 *制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。		
授 業 の 画	1. 〈前提講義〉遊んだ玩具の振り返り。リスト作成。おもちゃの歴史。 2. 「玩具」という言葉の意味。遊びのエピソードまとめプリント作成。（提出） 3. 積み木遊び（木製積み木）。 4. ブロック遊び（レゴブロック）、多様な積み木、ブロックの紹介。 5. かるた、トランプなどのカードゲーム。遊び方を工夫する。 6. ブロックと積み木の比較まとめプリント作成。（作成） 7. 双六（マップとサイコロ）。ボードゲームの紹介、遊び方。伝統玩具について。 8. 〈前半まとめ〉「子供にとっておもちゃ」とは。まとめプリント作成。（提出） 9. 割り箸鉄砲作り、遊びのルールを工夫。まとめプリント作成。（提出） 10. 「手作りおもちゃ」とは何か？これまで作った手作りおもちゃリスト作成。（提出） 11. 手作りおもちゃ制作1、手作りおもちゃの調べ学習。制作物決定と必要物リスト作成。（提出） 12. 手作りおもちゃ制作2 13. 手作りおもちゃ制作3 14. 手作りおもちゃ制作4 15. 手作りおもちゃ制作5、完成と遊び。振り返りプリント作成。（提出）		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合的評価。特に出席状況と授業態度、提出物を重視（授業内での手作りおもちゃ作品の完成度、おもちゃ遊びに対する意欲、真摯な受講姿勢、適切な片付け）		

科 目	保育表現技術・声楽Ⅱ	講 師	木下 裕子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・声楽Ⅰで学んだレパートリーやわらべ歌、リトミックソング等、現場で子どもたちと歌遊びを楽しむことが出来るよう、自分自身に合った指導方法を互いに検討し合う中で身に着けていく。 ・世界の愛唱歌・日本の歌曲や合唱曲等、様々な曲を演習し幅広い音楽的知識や芸術的感覚を身に着ける。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・今までの子どもの歌のレパートリーの各自確認 2. 呼吸・発声練習 3. わらべ歌・手遊び歌 4. 幼児リトミックの実践とその効果について 5. リトミックソングとその指導法 6. 〃 7. 歌あそびの指導案を作ってみよう 8. 子どもの歌の演習 9. 〃 10. 日本の愛唱歌・歌曲の演習 11. 〃 12. 世界の愛唱歌の演習 13. ハーモニーを楽しむ 14. 歌あそび研究発表会 15. 歌唱発表会 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……声楽Ⅰで購入したもの 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	平常点と発表会の成果による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅤ	講 師	佐藤 季里・島内 亜津子 山崎 洋子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの演奏技術の向上（バイエル終了～他の楽曲へ）。 ・子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。 ・実習・採用試験に向けての準備・レパートリー作り。 ・保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各学生のレベルの把握と課題決定 2. 個人レッスン 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 : 実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……1、2年次に使用したもの及び担当講師の指定するもの 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・ピアノⅥ	講 師	藤村 秀子・渡辺 容子
授業目標	・ピアノの演奏技術の向上（バイエル終了～他の楽曲へ）。 ・子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。 ・実習・採用試験に向けての準備・レパートリー作り。 ・保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。		
授業の画	1. 各学生のレベルの把握と課題決定 2. 個人レッスン 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 : 実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験		
教科書 及び 参考書	教科書…… 1、2年次に使用したもの及び担当講師の指定するもの 参考書…… 『始めよう！弾き歌い』		
評価の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	保育表現技術・音楽リズム	講 師	明尾 真弓
授業目標	ダンス、歌あそび、運動あそび等、様々なあそびを実習し、受講者自身も楽しみながらスキルアップしていく。さらに、後半はそれらを応用し劇をつくり、展開する力、友達と協力しながらひとつのものを作りあげていく力を養っていく。また、毎時間ストレッチ等を行い、受講者の体力維持・増強を図っていく。		
授業の画	1. オリエンテーション 2. 歌あそび、手あそび 3. ダンスあそび 4. 音あそび① 5. 音あそび② 6. 表現あそび① 7. 表現あそび② 8. 運動あそび 9. 指導演習① 10. 指導演習② 11. 劇あそび①題材選び 12. 劇あそび②脚本づくり 13. 劇あそび③演技練習 14. 劇あそび④演技練習 15. 劇あそび⑤発表会		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評価の 方 法	受講態度（積極的に主体となって活動できたか、等）、出席、課題の成果等による総合評価		

科 目	教材造形基礎	講 師	宮地 明子
授業目標	<p>1年次・2年次での学びを復習しながら、年齢に適した造形活動の教材について理解を深める。 保育現場の実践を想定しながら、ねらいや展開の仕方を考え効果的な導入と教材準備を考える。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業についてのガイダンス・アンケート 2. 導入の重要性、制作のねらいと準備 3. 0～1歳児の制作 4. 2～3歳児の制作 5. 4～5歳児の制作 6. 集団制作を考える 7. コスチュームを作ろう ① 8. コスチュームを作ろう ② 9. 幼児の版画 10. 素材研究 ① 11. 素材研究 ② 12. 素材研究 ③ 13. 季節の制作を考える ① 14. 季節の制作を考える ② 15. 振り返りとまとめ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……指定なし。授業内容に合わせて必要な資料は講師が準備し配布します。 参考書……指定なし。授業内容に合わせて必要な資料は講師が準備し配布します。</p>		
評 価 の 方 法	出席・単位ごとのレポート提出と、授業への取り組みによる総合的評価。		

科 目	造形演習Ⅱ	講 師	目黒 祥元
授業目標	<p>幼児造形の枠にとられない課題も取り入れて、広く造形美術の経験を深める。 共同制作を行い、実践的な応用力を養う。 *状況に応じて、授業内容や進行を適宜変更します。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンスと課題制作 2. 壁面装飾Ⅰ 3. 壁面装飾 共同制作 4. 絵具+1で遊ぶ 5. 絵具+1で描く 6. 紙を継ぐ、描くⅠ 7. 紙を継ぐ、描くⅡ 8. 作品を展示する 9. 粘土で遊ぶⅠ 10. 粘土で遊ぶⅡ 11. 刷り写す 12. 作品を装飾する 13. 額絵を描くⅠ 14. 額絵を描くⅡ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	期末試験、実習への取り組み、課題の完成状況、作品の評価、出席等の状況による総合評価		

科 目	クラスルーム・併修学習Ⅲ a (前期) Ⅲ b (後期)	講 師	阿久津 摂				
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス活動を通じて、保育者に必要とされるコミュニケーション力、協調性、責任感、協働の態度等の資質を養い、高める。 ・幼稚園教諭免許状取得に向けて、併修学習を促進する。 						
授 業 の 画 計	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> (前期) 1. オリエンテーション 2. 3年の学生生活について 3. クラス活動の企画 4. クラス活動① 面談 5. クラス活動② 〃 6. クラス活動③ 〃 7. クラス活動④ 〃 8. クラス活動⑤ 〃 9. クラス活動⑥ 10. クラス活動⑦ 11. クラス活動⑧ 12. 学校行事のガイダンス 13. 学校行事の企画① 14. 学校行事の企画② 15. 振り返りディスカッション </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">} 並行してレポート・テスト学習</td> <td style="width: 45%; vertical-align: top;"> (後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画③ 3. 学校行事の企画④ 4. 学校行事の準備① 5. 学校行事の準備② 6. 学校行事の準備③ 7. 学校行事の準備④ 8. 振り返りディスカッション 9. クラス活動の企画 10. クラス活動① 11. クラス活動② 12. クラス活動③ 13. クラス活動④ 14. クラス活動⑤ 15. 振り返りディスカッション </td> <td style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">} 並行してレポート・テスト学習</td> </tr> </table>			(前期) 1. オリエンテーション 2. 3年の学生生活について 3. クラス活動の企画 4. クラス活動① 面談 5. クラス活動② 〃 6. クラス活動③ 〃 7. クラス活動④ 〃 8. クラス活動⑤ 〃 9. クラス活動⑥ 10. クラス活動⑦ 11. クラス活動⑧ 12. 学校行事のガイダンス 13. 学校行事の企画① 14. 学校行事の企画② 15. 振り返りディスカッション	} 並行してレポート・テスト学習	(後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画③ 3. 学校行事の企画④ 4. 学校行事の準備① 5. 学校行事の準備② 6. 学校行事の準備③ 7. 学校行事の準備④ 8. 振り返りディスカッション 9. クラス活動の企画 10. クラス活動① 11. クラス活動② 12. クラス活動③ 13. クラス活動④ 14. クラス活動⑤ 15. 振り返りディスカッション	} 並行してレポート・テスト学習
(前期) 1. オリエンテーション 2. 3年の学生生活について 3. クラス活動の企画 4. クラス活動① 面談 5. クラス活動② 〃 6. クラス活動③ 〃 7. クラス活動④ 〃 8. クラス活動⑤ 〃 9. クラス活動⑥ 10. クラス活動⑦ 11. クラス活動⑧ 12. 学校行事のガイダンス 13. 学校行事の企画① 14. 学校行事の企画② 15. 振り返りディスカッション	} 並行してレポート・テスト学習	(後期) 1. オリエンテーション 2. 学校行事の企画③ 3. 学校行事の企画④ 4. 学校行事の準備① 5. 学校行事の準備② 6. 学校行事の準備③ 7. 学校行事の準備④ 8. 振り返りディスカッション 9. クラス活動の企画 10. クラス活動① 11. クラス活動② 12. クラス活動③ 13. クラス活動④ 14. クラス活動⑤ 15. 振り返りディスカッション	} 並行してレポート・テスト学習				
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし						
評 価 の 法 方	出席状況による評価						